

放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム
未来を拓く地方協奏プラットフォーム（共催）

第1回フェニックスプログラムキャリアセミナー 第23回コンソーシアム人材セミナー

「原子力規制庁で専門性を生かす」

講師 中桐 裕子

原子力規制委員会 原子力規制庁

安全規制管理官付（PWR担当／併・新型炉等担当）

平成28年6月24日（金）

16:30-17:30 [日本語開催]

会場

霞キャンパス基礎社会医学研究棟2階セミナー室2
（テレビ会議中継：東広島キャンパス総合科学部M棟
第2会議室）

申込み方法 1. 6/24セミナー、2. 名前、3. 所属、4. 学年 を明記して以下の申込み先
までEメールにてご連絡ください。

申込み締切 6月23日（木）

申込み・問い合わせ先

フェニックスリーダー育成プログラム事務室

E-mail: phoenix program@officehiroshima-uac.jp

セミナー概要

原子力規制庁の業務は、原子力発電所に係る審査のみならず、今後廃炉を迎える多くの施設への規制や、放射性廃棄物の処理・処分、さらには福島第一原子力発電所の安全な廃止措置など、今後とも長期にわたり必要とされる分野です。社会的にも意義が大きく、かつ、世の中の関心の強い分野であり、大きなやりがいのある仕事です。

原子力規制庁の組織や業務、求める人材、キャリア形成について理解を深めていただく機会を提供します。

講師プロフィール

慶應義塾大学大学院 理工学研究科 修士課程を修了後、経済産業省に入省。
原子力規制庁に出向され現在 安全規制管理官付(PWR担当)。
平成25年度から広島大学非常勤講師として、フェニックスリーダー育成プログラムの授業を担当され、平成28年度からは広島大学客員准教授として、引き続き、フェニックスリーダー育成プログラムの授業を担当。

原子力規制庁について

原子力の安全規制部門を切り離し、環境省の外局として、また、独立性の高い行政委員会として、原子力規制委員会が設置されました。この原子力規制委員会を事務局として支える組織が原子力規制庁です。

原子力規制庁は、仕事に必要な知識や能力を得るための研修制度も整えており、海外留学や勤務の機会も多く、専門性を生かせる魅力的な職場です。
行政職(大卒程度)と研究職(修士課程修了者以上)での採用があります。

* 28年度夏季インターンシップ募集中(短期)
(大学の取りまとめによる応募のみ・・・6月16日までにグローバルキャリアデザインセンター(キャリア支援グループ)まで応募書類を提出してください。)
対象: 大学、大学院に所属する学生。理工学系の知識があることを前提として実施する業務もあります。

<インターンシップ情報>

<http://www.nsr.go.jp/nra/employ/internship.html>